

きりたんぼラウンド in Akitaの報告

H31. 1. 5

秋田県スポーツ科学センター
秋田県事務局

2019年1月5日（土）、平成最後となる8回目の秋田県「きりたんぼラウンド」が行われました。

今年度は、北九州市・神奈川県・山形県・岩手県等、全国各地から多数御参加をいただき、総勢40名のラウンドでした。また、教員、大学教員、行政関係者、学生等、多様な立場から参加いただき、有益な情報交換を行うことができました。

1月初旬の開催でありましたが、天候にも恵まれ、各研究団体の皆様や参加者から、御協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。



1 情報提供 「移行期間における体育学習の在り方」

国立教育政策研究所 教育課程調査官 高橋 修一氏より

新学習指導要領の全面実施まで小学校ではあと1年3カ月と迫っているこの時期。新学習指導要領全面実施を見据えながら、この移行期間における準備すべきことは何かについて、新学習指導要領の趣旨を踏まえた体育学習の在り方等についてお話をいただきました。

また、評価について、「児童生徒の学習評価の在り方について（これまでの議論の整理（案）」（パブコメ中資料）を提示いただき、評価に関する動向についても具体的な資料等の情報提供をいただきました。

参加者からは、「なるほど」という表情や頷きながらメモする姿が見られ、あっという間の40分間でした（メモをとるのも惜しいくらい目が離せませんでした）。「普段の現場で業務を行っているときは、じっくり考えたり学ぶ時間がとれずにいるので、・・・このような機会を得られて良かった」という声がたくさん聞かれました。



2 ワークショップ「新学習指導要領の趣旨を踏まえた単元構造図の検討」&まとめ

桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊氏より

はじめに、佐藤豊教授から、単元構造図作成にあたり、体育科・保健体育科で育成を目指す資質・能力を確実に身に付けるために、資質・能力の三つの柱の関係性を重視した学習過程の工夫等について、お話をいただきました。その後、小学校3グループ、中学校4グループに分かれ、小は「ボール運動・ゴール型（第6学年バスケットボール）」、中は「球技・ゴール型（第1学年サッカー）」の単元構造図の作成に取り組みました。佐藤教授から説明いただいた資質能力の育成に向け、指導内容等の具体の学習活動を確認し、「いつ何を教え、いつどの観点で、何をを使って評価するのか」を意見交流しながら、それぞれの単元構造図を完成させました。熟慮する静けさがあったり、活発な議論が行われたりと、参加者自身が「主体的・対話的で深い学び」を体感した時間となりました。今回のワークショップを通して、今後何を大切にして授業づくりを進めていけばよいのかを佐藤豊教授からご示唆いただいたのではないかと思います。「授業する学年のことだけでなく、前後の学年や4年間のまとまりを考えて授業づくりを進めていきたい」「単元構造図を校内の他の先生方に伝えていきたい」という声等から、佐藤豊教授の思いを参加者が強く感じ取ったワークショップでした。



終わりに

終わりに

佐藤豊教授、高橋修一教育課程調査官をはじめ、お忙しい中、ラウンドに御参加いただいた皆様、ありがとうございました。また、会場を提供いただいた秋田県スポーツ科学センター、準備や運営等にご協力いただきました先生方にも感謝申し上げます。

次回も、体育・保健体育の授業に情熱を注いでいる先生方の新たな交流やつながりをつくりだせるラウンドにしたいと思います。